木之本宿再生計画

~街道を活かしたまちづくりにむけて~

平成 28 年 3 月

長浜市北部振興局

目 次

1. 木之本宿再生計画の位置づけ	. 1
1-1 計画策定の背景・目的	. 1
1-2 対象エリア	. 2
1-3 上位計画・関連計画等	. 3
2. 対象エリアの課題の抽出	. 7
2-1 対象エリアの課題	. 7
2-2 エリア課題図	13
3. 木之本宿再生計画の考え方	14
3-1 基本方針の設定	14
3-2 課題と対策方法	15
4. 地区全体計画	16
4-1 広域整備計画	16
4-2 エリア整備計画	17
5. 個別路線計画	20
5-1 検討路線	20
5-2 個別路線検討	21
6. まとめ	

1. 木之本宿再生計画の位置づけ

1-1 計画策定の背景・目的

(1) 背景

長浜市木之本町木之本地先の北国街道木之本宿は、旧宿場町の面影を残す歴史的資産が多数存在する地域です。平成16年3月には木之本町中心市街地活性化基本計画が策定され、策定後10年の間に木ノ本駅及び駅周辺の整備などが完了し、近年は町並み散策の来訪者も増加しています。併せて長浜市北部地域活性化計画、長浜市景観まちづくり計画、木之本宿活性化プランなどを策定し、まちづくりに携わる様々な主体による取り組みを展開しているところです。

しかし、生活基盤や観光資源を活かすための現況国道の道路機能に対しては、「不満を感じる。」という周辺住民の声が数多く聞かれ、また、中心市街地活性化基本計画をはじめ、各種計画に基づいたハード整備・ソフト事業がなされている間、国道303号のバイパス整備が完了し、中心市街地を通過する国道303号、国道365号重複区間においては、かつての『重要な都市と都市とをむすぶ』という一般国道としての役割から、『歴史的資源を楽しむため来訪者が散策する道路』として、その役割も変化がみられます。

平成26年4月、本区域は長浜市景観まちづくり計画に基づく特定景観形成重点区域の指定を受け、当地域の状況との整合を図りながら今後の町並み保全を行うにあたり、当地を通過する国道303号、国道365号重複区間等の道路整備は不可欠であると言えます。

(2)目的

本計画は、木之本の中心市街地の活性化に向けた地域づくりの取組みを、より充実させていくとともに、当地に人々が住み続け快適な生活を送るための生活基盤として、また、観光客のニーズに対応した魅力あるまちとしていくことを目的として、歴史ある景観を活かしながら、安心安全に通行できる道路のあり方について検討することで、木之本宿の街道を活かしたまちづくりに寄与する計画を策定するものです。

1-2 対象エリア

本計画の対象エリアは、JR木ノ本駅、木之本地蔵院、地蔵坂、北国街道の国道303号・国道365号重複区間等を中心に、周辺の路地等を含めたエリアで構成しています。

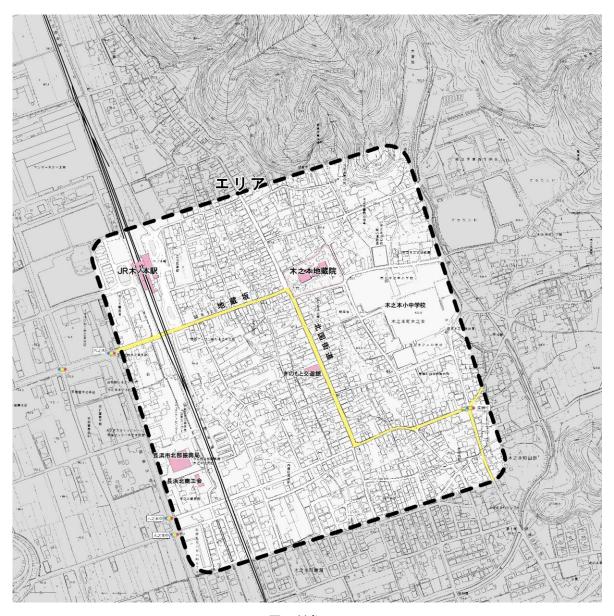


図 対象エリア

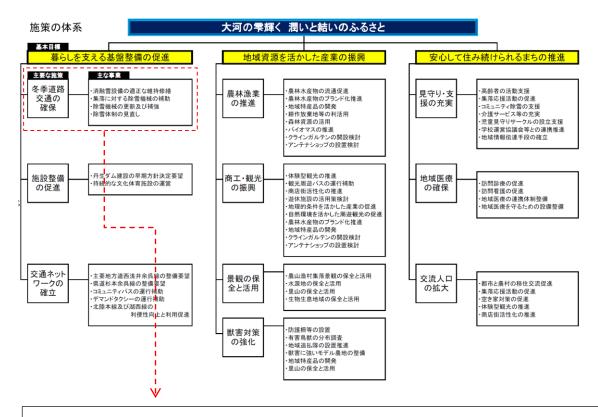
1-3 上位計画 · 関連計画等

本計画は、平成20年から26年度に策定された4つの方針・計画を上位計画・関連計画として策定します。それぞれの計画等において、対象エリアの道路に関して以下のように記載されています。

(1) 長浜市北部地域活性化計画 平成 24年3月

広域になった長浜市において、北部地域固有の課題解決や地域活性化に向けて策定されています。

基本目標のひとつとして「暮らしを支える基盤整備の促進」を挙げ、そのなかの主要な施策として「冬季道路交通の確保」を展開しています。また、歴史文化によって形成されたまち並みも重要な資源と位置づけています。



(1)暮らしを支える基盤整備の促進

①冬季道路交通の確保

総合的な雪対策は、北部地域の発展や経済活動を活発化させる上で克服すべき課題です。除雪や消融雪に万全を期し、冬季の道路交通を確保することは、住民の生活に必要不可欠です。

まず、除雪機械の更新や除雪体制の見直しとして道路除雪の業者委託を進めます。 また、消融雪設備は長寿命化を図るため、点検や水源地調査を実施して、設備の維 持修繕に努めます。さらに、自治会等が主体的に行う集落内除雪については、機械 購入や除雪作業にかかる費用の助成を行います。

(2) 長浜市景観まちづくり計画 平成20年3月策定、23年1月、26年4月変更

本計画の対象エリアを含む範囲について、「北国街道木之本宿景観形成重点区域」に位置付け、 景観形成の目標、方針について下記の通り記載しています。

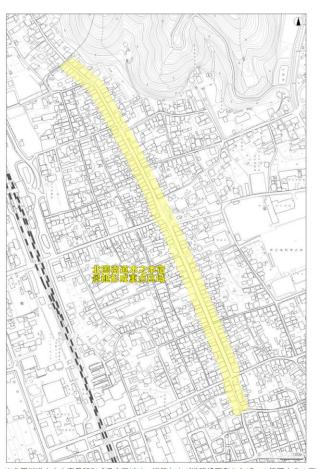
なお、景観形成重点区域内の建築物に対しては、位置、形態・意匠、色彩、素材、高さ、緑化等の基準を設けており、また、門、擁壁や土地の形質の変更等についても基準を設けていますが、 道路に関する景観基準はありません。

〇 景観形成の目標

宿場町としての木之本の風情 を後世に受け継いでいけるよ う、伝統と新しさが調和した景 観づくりを進めます

○景観形成の方針

- ・木之本宿にふさわしいまちな み景観になるよう、伝統的な 様式の町家を保存・継承する とともに、これらを活かした 風情あるまちなみづくりを進 めます。
- ・新しい建築物等が伝統的なま ちなみと調和するよう、形態、 仕様、素材、色彩などに配慮し、 まとまりのある景観づくりに



※北国街道木之本宿景観形成重点区域は、道路および道路縁両側から15mの範囲をその区域



木之本地蔵院 (浄信寺)



(3) 長浜市歴史的風致維持向上計画 平成27年3月変更

古来より城下町として、また交通の要所として発展してきた長浜市が、地域固有の歴史文化を生かしたまちづくりと市街地環境の整備を一層進めるために策定したものです。

当該エリアにおいては、浄信寺(木之本地蔵院)、 秋葉祭り、旧本陣、造り酒屋、醤油屋など街道沿い の町家、戦前の洋風建築であるきのもと交遊館を歴 史的資源・町並みを構成する重要な要素として位置 づけています。



【木之本宿の町並み (昭和初期)】長浜市蔵

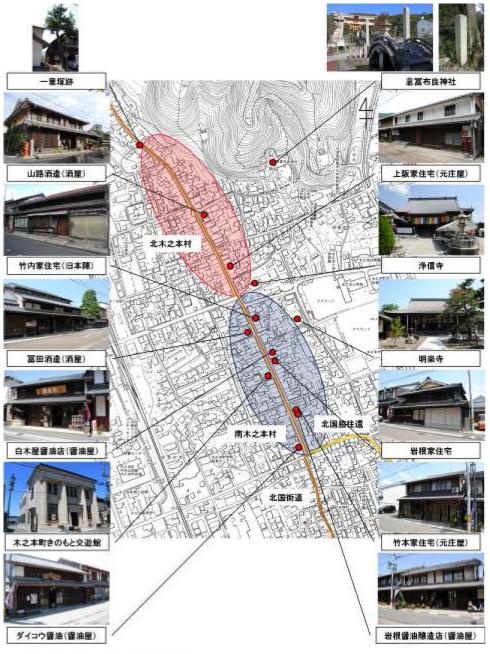


図 木之本宿における歴史的資源分布図

(4) 木之本宿活性化プラン 平成27年3月変更

木之本宿の商店街とまちなかの活性化にむけ、将来に渡り継続的な取り組みを推進していくため、まちづくりのアイデアや構想を定義したものであり、地域の多様な主体が参画し、「住民生活部会」「商工部会」「観光部会」で構成された木之本宿活性化推進協議会により作成しています。

基本施策を「住む」安らぎのあるまちづくり、「稼ぐ」活力に満ちた地域づくり、「観る」交流による賑わいづくり とし、事業計画のひとつとして「北国街道の道路改修」「路上駐車の抑制」を位置づけています。

■基本方策

- ・「住む」安らぎのあるまちづくり
- ・「稼ぐ」活力に満ちた地域づくり
- ・「観る」交流による賑わいづくり

■事業計画

- ・地域での生涯学習の推進、
- ・地域コミュニティの確立、
- ・地域の見守り体制の整備
- ・住み続けやすい環境づくり
- ・木之本ひとまちコーディネーターの活用
- ・空き店舗空き家の利活用
- ・北国街道の道路改修
- ・ 危険箇所の確認
- ・子どもの健全育成
- 街道沿いの修景整備
- ・路上駐車の抑制
- ・防災インフラの整備
- ・まちなか生活者の買い物支援
- 休憩施設の整備
- ・まちづくり会社の機能を担う組織整備
- ・まちなか空間でのイベントの開催
- ・地域ブランドの確立
- ・まちなか案内の整備
- まちなかガイドの体制づくり



木之本宿活性化プランで挙げられた方策(抜粋)

【北国街道の道路改修】

- ・安全に歩ける歩道づくり
- ・道路側溝を改修し、溝蓋の意匠を統一する
- ・融雪装置の改修
- ・ 通過車両の速度抑制策
- ・一方通行などの対策

【路上駐車の抑制】

- ・北国街道に駐車しない工夫
- ・月極駐車場が空いている時間の活用として、 善意方式「1時間100円等」で利用
- ・駐車場(地蔵院等)からまちなか散策を提案
- ・商店街で買物客用駐車場の整備

2. 対象エリアの課題の抽出

2-1 対象エリアの課題

対象エリアの課題を把握するため、交通量調査、住民アンケート及び住民ワークショップを実施し、その意見をとりまとめました。それぞれの詳細な内容は巻末に参考資料として掲載します。

(1)交通量調査

①調査目的

北国街道及び地蔵坂における道路利用状況を把握するため

②調査箇所

交差点 1箇所

③調査内容

交差点方向別交通量調査(平日・休日 各1日 12時間交通量)

※乗用車、バス、小型貨物車、普通貨物車、自動二輪車の 5 車種分及び、歩行者、自転車の 交差点方向別交通量を計測

4調査日

平日/平成 27 年 9 月 30 日 (水) 7:00~19:00 休日/平成 27 年 9 月 13 日 (日) 7:00~19:00

※歩行者・自転車は、平成 27 年 9 月 20 日 (日) 7:00~19:00



⑤調査結果

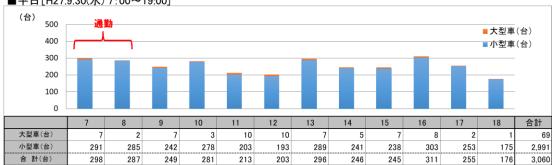
平日・休日の12時間交通量調査の結果は以下のとおりとなっています。

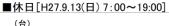
交通量調査結果

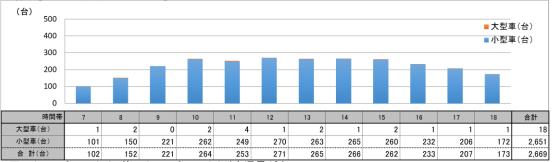
交差点合計まとめ

【自動車類】

■平日[H27.9.30(水) 7:00~19:00]

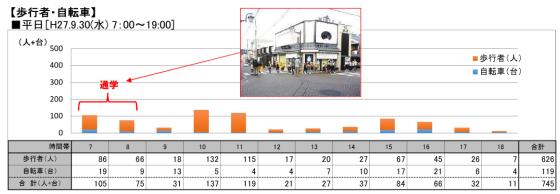






- 平日(3,060台/12h)は、休日(2,669台/12h)より交通量が多い。
- •特に7~8時台では、休日の同時間帯と比較して交通量が多い。

※通勤のための交通と思われる。





- 休日(1,608人+台/日)は、平日(745人+台/日)より、歩行者・自転車数が多い。
- ・特に11時台では、平日の同時間帯と比較して歩行者・自転車数が多い。
- 客が団体で観光し
- ・逆に7~8時台では平日の方が、休日よりも歩行者・自転車数が多い。
 - ※ 小中高校生が通学している状況を確認している。

交差点方向別まとめ

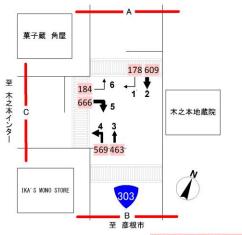
【自動車類】

■平日[H27.9.30(水) 7:00~19:00]



【平日】自動車類(台/12h)

■休日[H27.9.13(日)7:00~19:00]



【休日】自動車類(台/12h)

- •方向5が最も交通量が多く、800台/12h
- •次いで、方向4が753台/12h、方向2が646台/12h
- ·方向5が最も交通量が多く、666台/12h
- ・次いで、方向2が609台/12h、方向4が569台/12h

【歩行者·自転車】

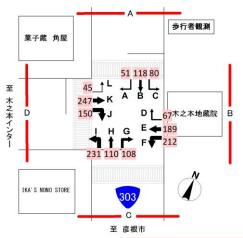
■平日[H27.9.30(水) 7:00~19:00]



・方向Iが最も歩行者・自転車数が多く、170人+台/12h

•次いで、方向Jが131人+台/12h、方向Bが105人+台/12h

■休日[H27.9.20(日)7:00~19:00]



【休日】歩行者自転車(人+台/12h)

- ・方向Kが最も歩行者・自転車数が多く、247人+台/12h
- ・次いで、方向Iが231人+台/12h、方向Fが212人+台/12h ・方向A,C,D,Lを除いて、各方向で100人+台/12hを超える

(2) 住民アンケート

①アンケートの目的

住民が道路に関して問題を感じている場所やその内容、整備方針の考え方等について把握するため

②実施時期

平成 27 年 8 月

③アンケートの方法

対象エリアに含む全14町内に対して配布

④アンケートの内容

属性、地域の道路に関する問題点、整備の方向性、自由回答

⑤アンケートの結果

配布数回収数:177部

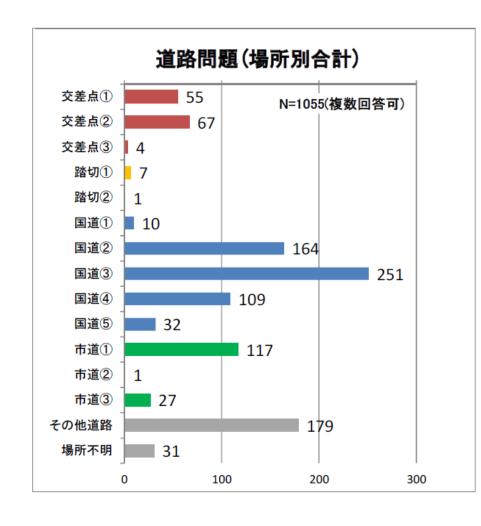
対象エリアの道路についての課題を尋ねたところ、問題だと感じている箇所は、北国街道・ 地蔵坂以南(図中の国道③)、地蔵坂(図中の国道②)、北国街道・地蔵坂以北(図中の市道①) 東横町交差点から北国街道の交差点(図中の国道④)という順でした。なお、その他道路とは、 図示した箇所以外の脇道等を示しています。

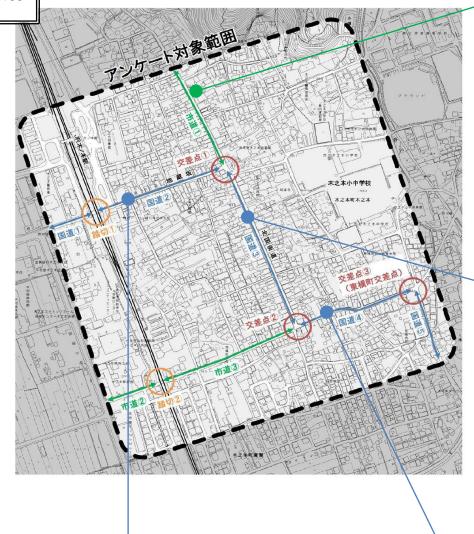
問題と感じている内容については、全体では「路上駐車が多い」「交通量が多くて危ない」が 上位でしたが、各道路でそれぞれ問題が違う結果となりました。

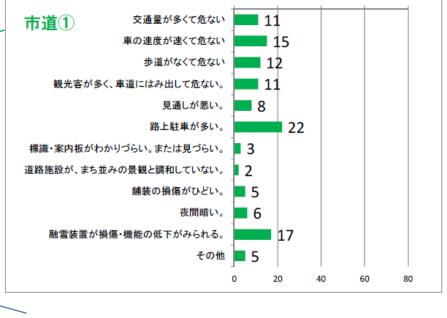
具体的には、以下のとおりとなっています。

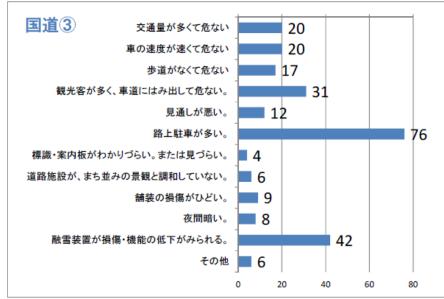
箇所	図中番号	主な道路問題点
北国街道・地蔵坂以南	国道③	路上駐車が多い
地蔵坂	国道②	舗装の損傷がひどい
北国街道・地蔵坂以北	市道①	路上駐車が多い
東横町交差点から北国街道の交差点	国道④	交通量が多くて危ない

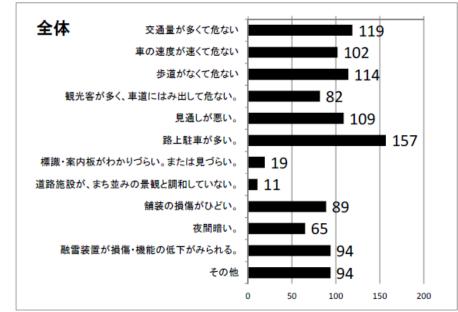
対象エリアにおける道路の課題 住民アンケート結果抜粋

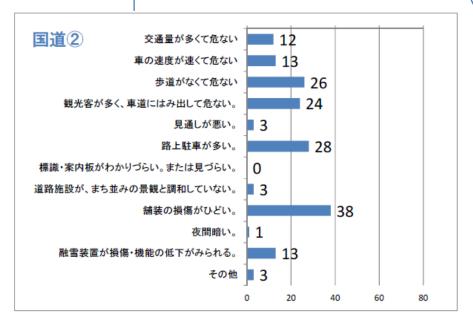


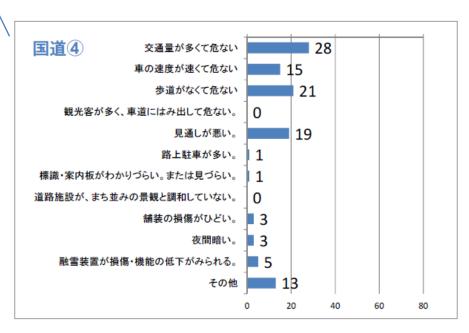












(3) 住民ワークショップ

①目的

アンケート結果も踏まえたより詳細な道路に対する問題点・課題の抽出

②実施日

平成 27年 10月 23日(金)19:30~

③場 所

きのもと交遊館

4)対 象

木之本宿活性化推進協議会メンバー(協議会内で実施)

⑤討議テーマ

地域内の道路整備における問題箇所とその内容について

⑥討議結果

木之本宿活性化推進協議会のメンバーでワークショップを実施し(協議会開催にあわせて開催)、以下のような意見がでました。

- ・北国街道を走る車は県外ナンバーが多い。通過交通が問題。
- ・路上駐車が問題。最近はバイクも増えた。でも、駐車場が少ないし設置できる箇所 もない。
- ・北国街道と地蔵坂は地域のシンボル的な存在。その丁字路の一体感が必要。
- ・北国街道の東西で地盤高が違う。さらにオーバーレイの繰り返しで
- ・国道303号(東横町交差点~北国街道)と市道(北国街道~西山路切)は消融雪装置がない。もともと幅員が狭いうえに、冬季はさらに狭くなって歩きにくい。
- ・全体的に消融雪設備が古い。
- ・そもそも抜本的な整備の方針がない。生活道路としての整備なのか、観光道路に特 化するのか。
- ・柳など思い切った整備をするのも一案。
- ・石畳の上の雪をかくのは大変。
- ・交差点の見通しが悪い。地蔵坂と北国街道の交差点、西山踏切から東横町交差点に 向かう道と北国街道の交差点など。特に後者は形状も悪く危険。
- ・大型バスの駐車場が駅にあるが、散策する時間が限られているのが残念。





(2) 住民アンケート結果、(3) 住民ワークショップによる課題抽出、及び現地踏査等をとりまとめたエリア課題図です。



図 エリア課題図

3. 木之本宿再生計画の考え方

3-1 基本方針の設定

1-3 上位計画・関連計画等及び、2. 対象エリアの課題の抽出をもとに、街道を活かしたまちづくりを展開するために、下記の基本方針を定めました。

基本方針1:対象エリアの道路の役割明確化

- ・当該エリアは、かつては北国街道という交通の要所であり、現在も国道303号・365号重 複区間が通過していますが、現在は歴史的資源・景観を楽しむ多くの観光客が散策する道路です。
- ・現在の使われ方のみでなく、まちの将来像をもとに当該道路の役割を見直し、それに則した道 路整備を検討します。

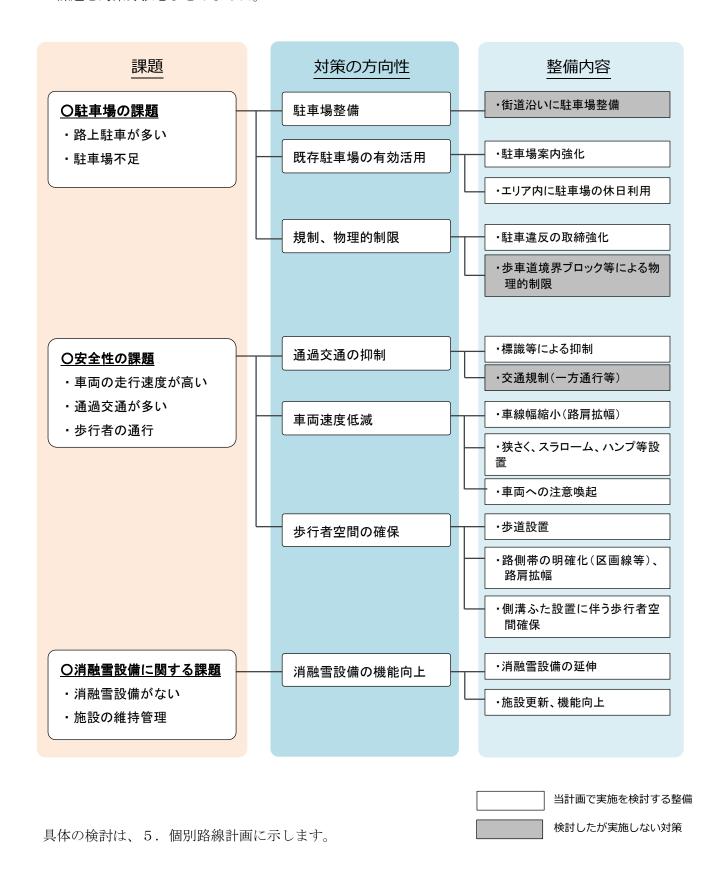
基本方針2 : 歩行者重視のみちづくり

- ・当該エリアには現在でも多くの観光客が来訪しており、また、歴史的資源を活かしたまちづく りを展開して更なる来訪を促す取り組みをしています。
- ・観光客が歩きやすい、快適で安全なみちづくりを進めます。
- ・エリア内の地蔵坂等は、小中学校及び高校生の通学路として利用されており、朝・夕の通学時 の安全性に配慮した計画とします。
- ・消融雪設備の維持管理と機能回復、設置延長の延伸及び設置等を検討します。

基本方針3 : 歴史的資産と調和したみちづくり

- ・対象エリア内には寺院、造り酒屋、醤油屋等や、街道沿いの町家といった歴史的資産が豊富に あるため歴史的景観に配慮します。また、伝統行事である「秋葉祭り」や、街道を使ったイベ ントに対応できるよう検討します。
- ・北国街道の景観は、通りに面して均等に建ち並ぶ建物が大きな要素となっています。景観に大きな変容を及ぼすような住宅位置の変更を防ぎ、現道敷地内での改良を原則とします。

課題と対策方法をまとめました。



4. 地区全体計画

3-2 課題と対策方法に基づき、地区全体計画を定めました。

4-1 広域整備計画



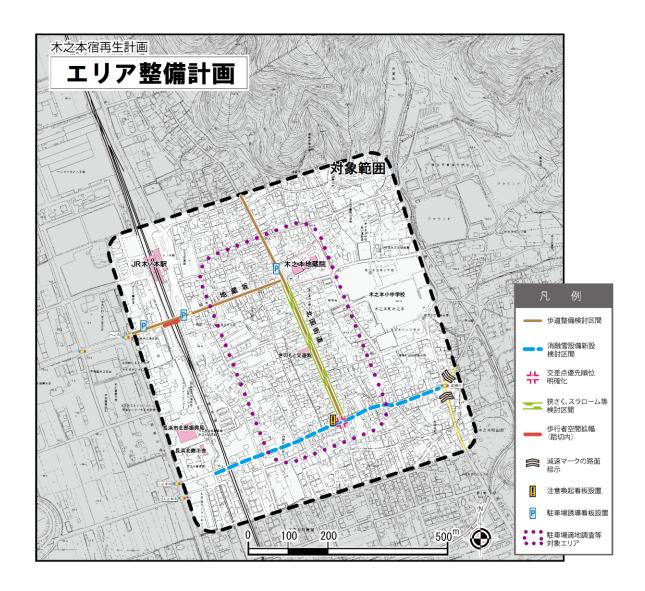
(1) エリア全体の検討内容

エリア全体の整備計画を示します。

エリア全体で検討する課題に、路上駐車を含む駐車場不足、地域住民・観光客の安全で快適な 歩行空間の確保、消融雪設備の連続性があります。

駐車場については、街道沿いで駐車場を確保するのは困難な状況ではありますが、エリア内での候補地・適地調査を実施するとともに、区域内にある既存施設等の駐車場の利用状況を踏まえ、利用していない時間(例えば土日など)の有効活用を検討していきます。

また、北国街道・地蔵坂を中心に、観光客等の歩きやすさと安全性を考慮した歩行者空間の整備を検討しますが、伝統行事である「秋葉祭り」など街道を使ったイベントに対応や、消融雪設備の排水を阻害しないよう北国街道には歩車道境界ブロックを置かないなどの検討が必要です。



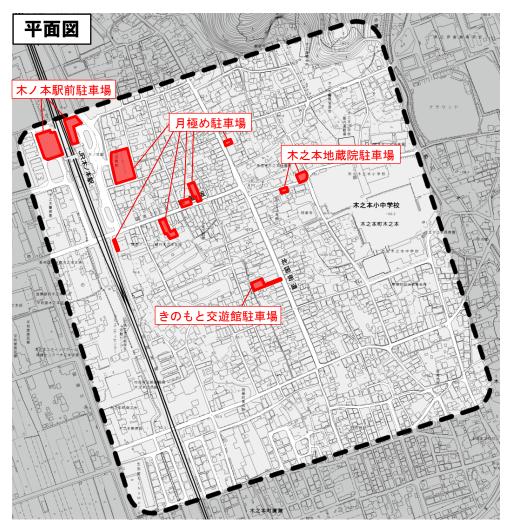
(2) 駐車場の整備

①現況の駐車場

木之本宿はアンケート等からも分かるように、北国街道・地蔵坂において、「路上駐車が多い」ことが問題であると認識されています。

この地域は自動車が普及する以前から商店街として栄えてきたことから、表通りは家屋が連なり、商店街利用者の駐車場はほぼ存在しません。

街道沿いの空き地利用として、一部駐車場となっているが、地区住民の駐車場としてのみ利用されており、観光客が利用できる駐車場としてはJR木ノ本駅前駐車場のほかには、きのもと交遊館しかありません。なお、木之本地蔵院にも駐車場はありますが、参拝者専用駐車場という位置付けとなっています。



※ 今回の対象道路沿い、及び観光施設・公共施設の駐車場を図示

- 月極め	6箇所	1 7 7 台	
• 木之本地蔵院駐車場	2箇所	1 1 台	
・きのもと交遊館駐車場	1 箇所	13台(内身障用2台)	
・木ノ本駅前駐車場	2箇所	9 4 台(内身障用 4 台)	

②駐車場整備の方向性

今後、本計画に伴う道路整備や、景観を活かしたまちづくりが進めば、街並み散策の観光客が 増加することが予想され、路上駐車・駐車場不足の問題がさらに深刻化するおそれがあります。

現状では、街道周辺にまとまった駐車場用地を確保できませんが、重要な課題として、公共的施設の見直しや、空き地の状況等を勘案し、商店街や、商工会・観光協会と連携しながら、エリア内での候補地・適地調査を実施することで、観光客にとって最も利便性の高い駐車場の確保を目差します。

また、駐車場の整備にあたっては木之本宿の商店の連続性や、まちなみの景観が損なわれることがないように留意します。

【参考:エリア内の既存の駐車場】

JR木ノ本駅駅西駐車場



JR木ノ本駅駅東駐車場



木之本交遊館駐車場



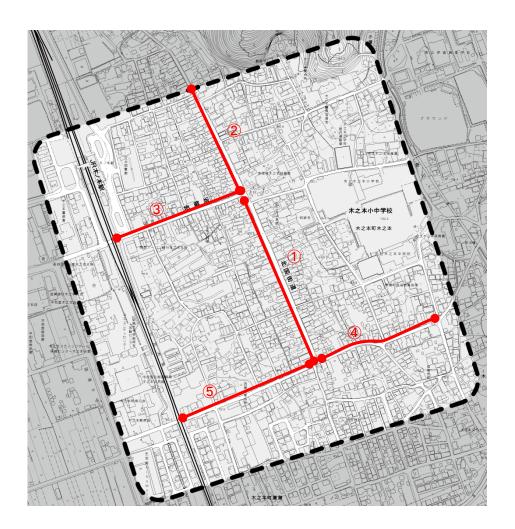
※木之本交遊館の駐車場は、街道からアクセスでき利便性が高く、建物裏に位置するため、まちなみの連続性・景観を阻害することがありません

5. 個別路線計画

5-1 検討路線

個別路線計画の対象は以下のとおりです。

- ①北国街道(地蔵坂以南)
- ②北国街道(地蔵坂以北)
- ③地蔵坂
- ④東横町交差点-北国街道
- ⑤北国街道-西山踏切



個別路線計画について、行政担当者で関係課協議会を実施しました。

○関係課協議会

· 実施日: 平成 27 年 12 月 1 日 (火) 9:30~

・場 所:長浜市 北部振興局2階 第1・2会議室

・対 象:滋賀県 長浜市 関係各課

関係課協議会では、以下の意見が出ました。

- ・カラー舗装が良いのは施工直後のみで、すぐに劣化してしまうイメージがある。車道は 通常のアスファルト舗装とし、歩道はインターロッキングや石畳で境界を明確化する ほうがよい。
- ・アンケートの意見等に電柱の地中化が挙がっているが、費用面から非常に難しい。電柱 をうまく利用して速度抑制対策に役立てたほうがよい。
- ・道路ナビは国道優先で設定されるため、岐阜(揖斐の八草トンネル)方面からの交通は 地区内の国道を案内することになる。
- ・観光面だけを考えれば、かつての宿場町を再現して柳や水路を整備し、一方通行とすればインパクトはある。ただし、生活道路としての一面があり、また、水路の水源の確保や柳は維持・管理等難しい。国道のままでの極端な計画は不可能である。
- ・消雪装置の新設が対策案として挙がっているが、水源について調査が必要である。
- ・北国街道や地蔵坂は車道幅員5.5m(3種4級)が望ましい
- ・路肩または歩道部の舗装材の選定にあたっては、景観形成重点区域であることに配慮 いただき、施工後の維持補修も含めて判断されたい。
- ・歩道を設置の場合は石畳風で進めてほしい。





関係課協議の結果をもとに検討し、個別路線計画を定めました。

対策内容の箇所別検討表

 課題
 駐車場の課題
 安全性の課題
 消融雪設備に関する課題

 (路上駐車が多い、駐車場不足)
 (車両の走行速度が高い、通過交通が多い、歩行者の通行)
 (設備がない、維持管理)

対領	気の方向性	駐車場整備	既存駐車場	の有効活用	規制・物	理的制限	通過交流	通 の抑制		車両速	度低減		歩行者3	空間確保	消融雪設	:備の整備
整值	前内容	街道沿いに 駐車場整備	駐車場案内 強化	エリア内の 駐車場の休 日利用	駐車違反の 取締強化	歩車道境界 ブロック等 による物理 的制限	標識等による抑制	交 通 規 制 (一方通行 等)	車道幅縮小(路肩拡幅)	狭さく、スラ ローム、ハ ンプ等設置	歩道設置	車両への注意喚起	路側帯の明 確化(区画 線等)、路 肩拡幅	側溝ふた設 置に伴う歩 行者空間 確保	消融雪設備 の延伸	施設更新、機能向上
内容	字・効果	観光客にと っ便性の 音、 で を 整備。	既存の駐車 場としてで、 の路上 で、 の路上 で、 の路上 を抑制。	休日休業の 店舗や施設 駐車場を、 観光貸出すり し、 足解消。 不足解消。	見回り等により路上駐車を抑制。	歩車道境界 ブロションの では を は で は で は で は で は で は で り に す で り に す で り た り に り に り に り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ	案内標識に より車することで 通を抑制。	一時間 制 エリカー 大田間制 まり 大田間制 まり 大田 制 エリー 大田 で かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	車動幅員を縮小していまりにくくすることによりスピードを抑制。	部分のない。 一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一段の一	歩道設置 し、安全空間 を確保。	交先車でを入ります。 一を大車でを入ります。 一を大力が、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは、ためでは	路し間せ舗え歩を振者。色をと空化を表している。色をとっている。	側溝ふたを 設置し狭小 区間におい て歩行スペ ース確保。	消融雪設備 が設まないで 間にがいいで で 検討。	消融雪設備 の更新と機 能向上を実 施。
箇所・路線別検討	地域外・地域全体	一:い場断ア補地実道駐保工候適を が地調施	○: 地交木付車を ・ 一 一 で ・	○:駐車場 適地検有効 活用に関す る施	○ : 整備 画とし ・	一:個別路 線にて検 討	○ ・通しかなより ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	×:行適回がらなの 一の切路難。 がらな確 がらなの の の の の の の の の の の の の の の の の の の	一:個別路 線にて検 討	- なもの制抑果は線 部設地速、制。個に 分置区度侵に具別て 的で内抑入効体路	-:個別路 線にて検 討	○:北北 道 - 環 建 で が 施 施	ー:個別路 線にて検 討	一:個別路 線にて検 討	-:地区全体 の連続性 確保。個別 体は個別 路線 検討	-:個別路 線にて検 討
	①北国街道 (地蔵坂 以南)	×:観しい場所 関しい場所 を を を を が は は は は は は り に り に り の り に り の り の り の り に り の り の	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	-:実施す るならば 対象エリ ア	×: 伝 事り」を が が が が が が が が が に に に に に に に に に に に に に	ー:エリア全 体で検討	×:柳·水路 がある、の で再現通 一 化する意	○:対策として有効。	○:車道幅 縮小と併 用すること で有効	×: ウライ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ー:対象外 (面的に検 討)	○:対策とし て有効。景 観性も配慮	-:設置済み	-:設置済み	〇:機能低 下がる れる機 新 向上
	②北国街道 (地蔵坂以北)	3	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	-:実施す るならば 対象エリ ア	するため 適用しな い	-:エリア全 体で検討	見もあった が 3 生して が 3 上して の 一 配 慮 した	△:対策とし て有効だが 現況幅員と 同程度	×:現況幅 員より設 置困難	き融い。 設備化 が とも が とも エ とも エ とも エ と も 、 と も り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	一:同上	○:対策とし て有効。景 観性も配慮	-:設置済み	-:設置済み	〇:機能低 下が見られ る。更新、 機能向上
	③地蔵坂	一:対象外	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	-:路上駐車 が課題と なってい ない	-:エリア全 体で検討	×:迂回路 困難	△:同上	×:同上	○:観光客 の安全性 確保として 有効	一:同上	○:対策とし て有効。景 観性も配慮	ー:設置済 み	-:設置済 み	○:機能低 下が見ら れる。更 新
	④東横町交差点-北国街道	一:対象外	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	×: 歩備がき 幅保で	-:エリア全 体で検討	×:迂回路 困難	△:同上	×:同上	×:現況幅 員より設 置困難	一:同上	○:対策とし て有効。	〇:現在未 設置(不 連続)。 融票	○: 未間。間。 水間 る が 題 が 間 る は	一:対象外
	⑤北国街道- 西山踏切	一:対象外	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	-:エリア全 体で検討	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-:エリア全 体で検討	×:迂回路 困難	△:同上	×:同上	×:同上	一:同上	○:対策とし て有効。	設置に り、 家 易 ば る が ま に な た た た た た た た た た た た た た た た た た た	が、延伸 検討	一:対象外

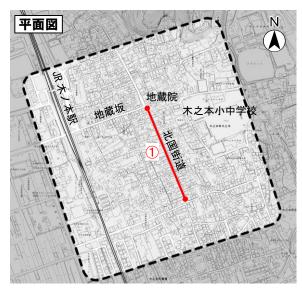
① 北国街道(地蔵坂以南)

1)現況

北国街道(地蔵坂以南)は、対象エリアにおける主要な路線であり、歴史的資源・景観や商店での買い物を楽しむ多くの観光客が散策する道路です。

しかし、当該路線は、国道としての交通機能の役割も担っており通過交通が多いうえ、歩道が無いことや、路上駐車が多いこと、オーバーレイの繰り返しによって端部勾配がきつくなっていることにより、歩行者が安心して通行できるような構造となっていません。

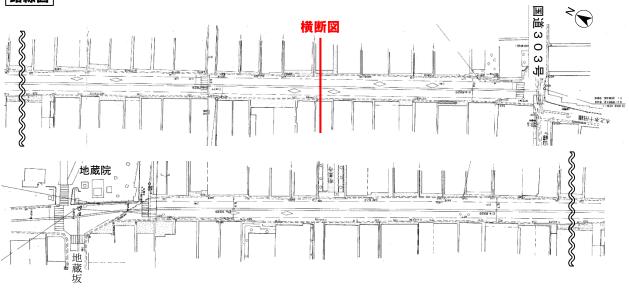
また、消融雪装置が古く劣化しており、機能低下していることも問題として挙げられます。



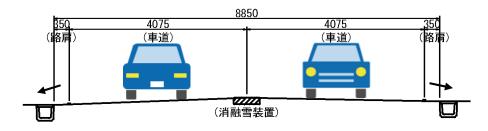
状況写真



路線図







① 北国街道(地蔵坂以南)

2)整備案

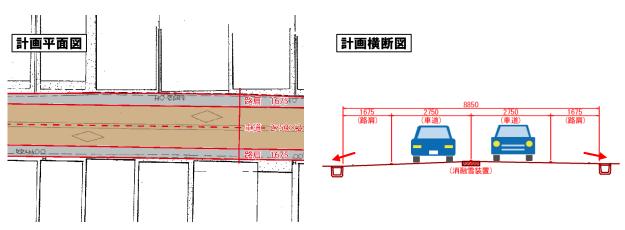
北国街道(地蔵坂以南)の整備は、劣化した消融雪装置や、オーバーレイでの繰り返しできつくなった勾配の改修を基本として、景観にも配慮しつつ、現況で問題となっている歩行者の安全な通行に配慮した計画とします。なお、路線としての一体感を持たせるため、整備にあたっては後述の地蔵坂以北の整備と併せて行う必要があります。

【整備案①】

整備案①では、当該路線は国道としての交通機能も担っていることから、車両等の交通にも配慮しつつ、歩行者の安全な通行に配慮した計画します。

(具体的な整備内容)

- ➤ 車道を2車線(2.75×2m)に縮小し、車両速度を抑制します。
- ➤ 路肩は、車道部と違う舗装種類とし、歩行空間を明確化します。なお、車道は樹脂アスファルト舗装、路肩は石畳舗装等を使用する等して景観にも配慮します。
- ➤ 劣化した消融雪装置については補修を行います。
- ➤ 切削オーバーレイにより、オーバーレイの繰り返しによる端部勾配の急傾斜を解消します。





① 北国街道(地蔵坂以南)

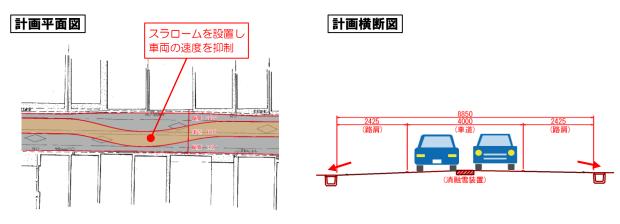
【整備案2】

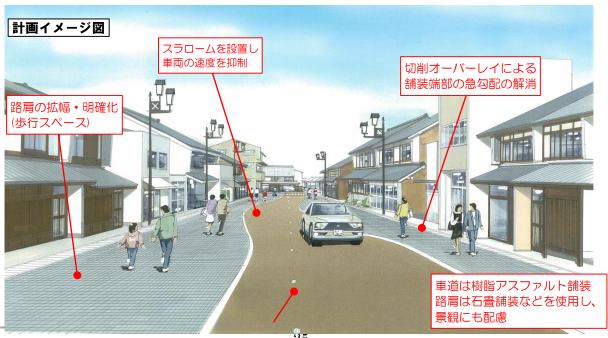
整備案②では、車両の排除を前提とし、車線の縮小や屈曲部の設置によって車両の速度を抑制することで、整備案①よりもさらに歩行者の安全な通行に配慮した計画としています。

なお、本整備案は、大きな構造変更となり、利用者への影響が大きいため、地元や関係機関との調整が必要になります。

(具体的な整備内容)

- ➤ 車道を1車線(4m)に縮小したうえ、スラローム(屈曲部)を設けることで車両速度を抑制します。トラック等のすれ違いは困難となります。
- ➤ 路肩は、車道部と違う舗装種類とし、歩行空間を明確化します。なお、車道は樹脂アスファルト舗装、路肩は石畳舗装等を使用する等して景観にも配慮します。
- ➤ 劣化した消融雪装置については補修を行います。
- ➤ 切削オーバーレイにより、オーバーレイの繰り返しによる端部勾配の急傾斜を解消します。



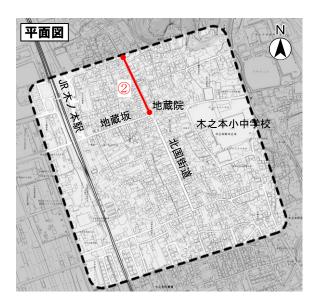


② 北国街道(地蔵坂以北)

1) 現況

北国街道(地蔵坂以北)は、地蔵坂以南と同様に歴史的資源や商店が立ち並ぶ路線で、路上駐車が多いことや、歩道がないことが問題となっています。また、地蔵坂以南よりも幅員が狭いため、車両、歩行者ともに安全な通行の妨げとなっています。

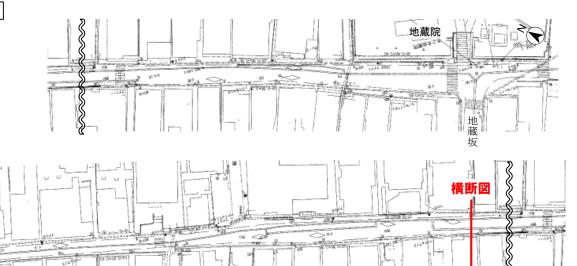
消融雪装置も古く劣化しており、機能低下しています。また、2系統に分離されているため維持管理の面でも負担となっています。

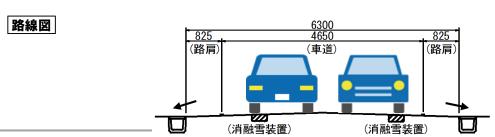


状況写真



路線図





② 北国街道(地蔵坂以北)

2)整備案

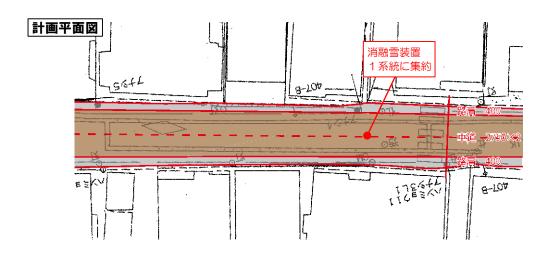
北国街道(地蔵坂以南)の整備では、路線としての一体感を持たせるため、前述の地蔵坂以北 と併せた計画としつつ、2系統となっている消融雪装置の集約化を行う計画とします。

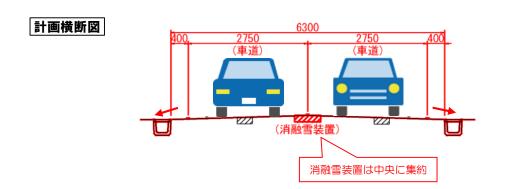
【整備案①】

整備案①では、地蔵坂以南の整備案①と併せた計画とします。地蔵坂以南と同様の車道幅員 2.75 mを確保すると路肩が現況より狭くなる箇所があります。

(具体的な整備内容)

- ➤ 車道を2車線(2.75×2m)とします。
- ➤路肩は、車道部と違う舗装種類とし、歩行空間を明確化します。なお、車道は樹脂アスファルト舗装、路肩は石畳舗装等を使用する等して景観にも配慮します。
- ➤ 劣化した消融雪装置については補修を行うとともに、2系統から1系統に集約します。





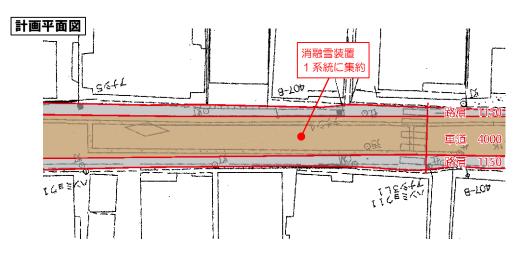
② 北国街道(地蔵坂以北)

【整備案②】

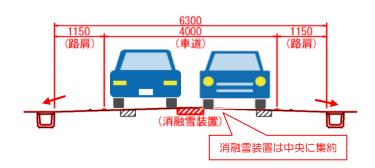
整備案②では、地蔵坂以南の整備案②に準じた計画とします。ただし、幅員の関係からスラロームの設置は行いません。

(具体的な整備内容)

- ➤ 車道を1車線(4m)に縮小し、車両速度を抑制します。
- ➤ 路肩は、車道部と違う舗装種類とし、歩行空間を明確化します。なお、車道は樹脂アスファルト舗装、路肩は石畳舗装等を使用する等して景観にも配慮します。
- ➤ 劣化した消融雪装置については補修を行うとともに、2系統から1系統に集約します。



計画横断図



参考(1):舗装種類

舗装種類については、車道と路肩において別々の舗装材を用いることでそれぞれの通行位置を 明確化します。

➤ 例① 車道:樹脂アスファルト舗装 × 路肩:舗石タイル舗装

➤ 例② 車道:アスファルト舗装 × 路肩:樹脂アスファルト舗装 など

また、舗装種類を決める際は、景観性だけでなく降雪時の歩行の安全性や、路面の排水性、車両 通行時の騒音等にも留意する必要があります。

参考として、以下に代表的な舗装のテクスチャと概要を示します。

樹脂アスファルト舗装	インターロッキング舗装	舗石タイル舗装	小舗石舗装
樹脂バインダーを使用 することにより、自然石 が持つ色を生かしたアス ファルト舗装	独特の幾何形状に製造 された舗装用コンクリー トブロックを使った舗装	正方形など整形の石板 を使った舗装	ョーロッパなどで車 道・歩道・広場に使われ ている 10cm 程度の立方 体の本石を使った舗装

参考②:観光客の誘致に特化した道路整備

住民ワークショップ (P.20 参照) では、木之本宿らしさを創出し、かつての宿場町を再現したような道路中央に水路と柳を設置した道路整備を行ってほしいとの意見がありました。

実現すれば観光客誘致に大きな効果があると考えられますが、大規模な構造変更を伴うものであり整備コストや沿道生活者の影響(車両一方通行、歩道の設置位置)など実現には様々な課題があります。

しかし、木之本宿活性化計画等に基づく様々な活動・取組みが進展し、地域のまちづくりに対する機運が高まることで、中長期的な道路整備を検討する際のひとつの案として考えられます。



【木之本宿の町並み (昭和初期)】長浜市蔵

▲ かつての木之本宿の街並み



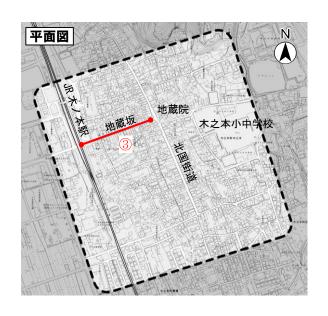
▲ 整備イメージ

③ 地蔵坂

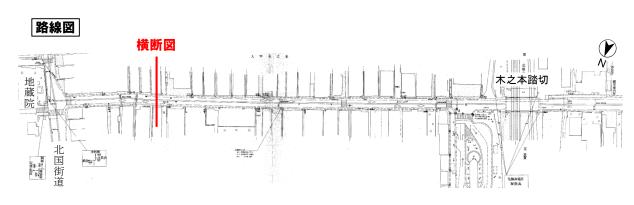
1)現況

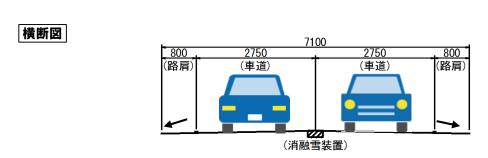
地蔵坂は、JR木ノ本駅から木之本地蔵院までの参道としての役割を担っており、ツアーバス 観光客等が多数通行します。また、木之本小・中学校の通学路としても利用されています。

しかし、当該路線では、歩道がないうえ、歩車道境界が明確でなく、歩行者が車道にはみ出して通行する様子がみられます。また、石畳舗装は劣化・損傷しているうえ、損傷個所の一部は、通常のアスファルト舗装で修繕されているため、継ぎ接ぎになっており、騒音や景観の悪化を招いています。









③ 地蔵坂

2)整備案

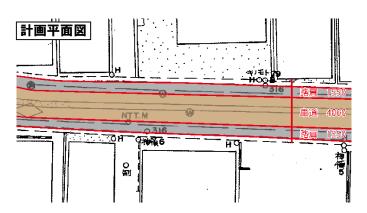
地蔵坂の整備は、劣化した石畳舗装の改修を基本として、景観にも配慮しつつ、歩行者の安全な通行を目指した計画とします。

【整備案①】

整備案①では、車道幅員を縮小し、歩行者の安全な通行のために路肩幅を広く確保した計画とします。

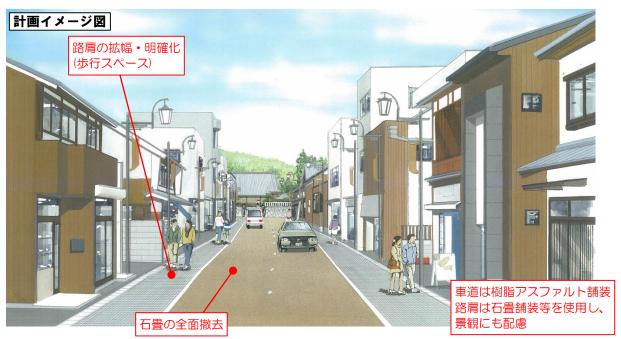
(具体的な整備内容)

- ➤ 車道を1車線(4m)に縮小し、車両速度を抑制します。
- ➤ 車道部の劣化した石畳舗装は撤去し、景観にも配慮した樹脂アスファルト舗装とします。
- ➤ 路肩は、車道部と違う舗装種類とし、歩行空間を明確化する。なお、舗装種類は景観に配 慮し、石畳舗装等とします。
- ➤ 劣化した消融雪装置については補修を行います。



計画横断図





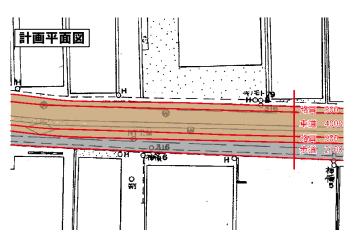
③ 地蔵坂

【整備案②】

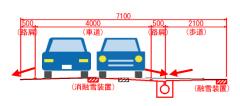
整備案②では、車道幅員を縮小し、歩行者の安全な通行のため歩道を整備する計画としています。ただし、幅員の関係から、歩道は片側のみの設置となります。

(具体的な整備内容)

- ➤ 車道を1車線(4m)に縮小し、車両速度を抑制します。
- ▶ 車道部の劣化した石畳舗装は撤去し、景観にも配慮した樹脂アスファルト舗装とします。
- ➤ 歩道は、車道部と違う舗装種類とし、歩行空間を明確化します。なお、舗装種類は景観に 配慮し、石畳舗装等とします。
- ➤ 劣化した消融雪装置については補修を行います。



計画横断図





④ 東横町交差点-北国街道、⑤ 北国街道-西山踏切

1)現況

東横町交差点~北国街道は、北国街道や地蔵坂と同じく、国道303号と国道365号との重 複区間であり、北国往還とも呼ばれる歴史ある街道となっています。北国街道~西山踏切は、北 国街道と国道8号を結ぶ路線で、地蔵坂の迂回路としての機能も持ちます。

ともに幅員が狭く歩行空間がないうえ通過交通が多いことや、消融雪装置が未設置であるため 冬季の交通に支障をきたすことが問題となっています。



状況写真



幅員が狭いうえ 側溝にふたがない

消融雪装置が 未設置

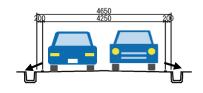




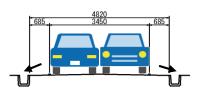


横断図

(東横町交差点~北国街道)



(北国街道~西山踏切)



④ 東横町交差点-北国街道、⑤ 北国街道-西山踏切

2)整備案

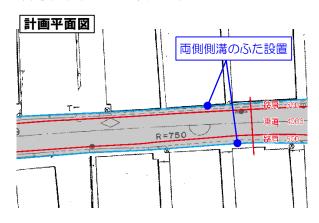
現況の幅員が狭いことから、少しでも歩行空間を確保するために側溝のふたの設置を行います。また、東横町交差点~北国街道については、車両の速度抑制のため、車道の幅員を縮小し、路肩の幅員を広げます。

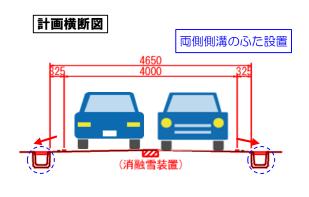
さらには、冬季の安全な通行のため、消融雪装置の設置を行います。

(具体的な整備内容)

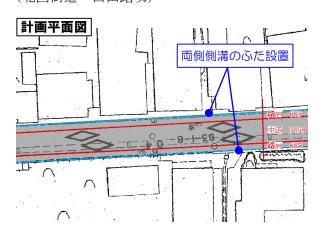
- ➤ 車道を1車線(4m)に縮小し、車両速度の抑制を行う。※東横町交差点~北国街道のみ
- ➤ 車道中央に融雪装置を設置する。
- ➤ 幅員の確保のため、側溝にふたを設置する。

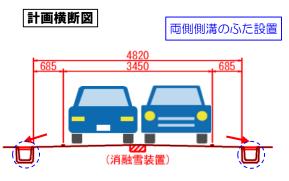
(東横町交差点~北国街道)





(北国街道~西山踏切)





※横断構成は現況から変更なし

6. まとめ

特定景観形成重点区域の指定を受けた当地域において、今後、町並み保全や景観形成等のまちづくりを進めるにあたって、道路整備は重要な役割を担っています。

当地域における北国街道や地蔵坂は、『歴史的資源を楽しむため来訪者が散策する道路』として、現在も街なかの賑わい創出に貢献し、また、地域住民の生活道路として幅広く利用されています。

今後も、当地に人々が住み続け、安心安全で快適な生活をおくるため、また、木之本宿を活気にあふれる地域として再生していくため、「街道」を活かしたまちづくりを具現化することが求められています。

本計画の実現に向けては、今後も行政だけでなく、常に市民や道路利用者の視点を踏まえながら、各者がそれぞれの立場から知恵を出し合い一体となって取り組み、より詳細な検討を行っていくことが重要です。